

## HS情報システムズ

# 住宅ローンリスクを分析

## データに応じ最適手法

HS情報システムズは、金融機関に対する住宅ローンのリスク管理支援を強化する。データの量や質に応じて最適な分析手法を採用することで、各機関の顧客特性や地域性を考慮した予測モデル構築を可能にした。試行を検討する地方銀行や信用金庫もあり、今後、地域金融機関を中心に提案活動を本格化していく。

## 予測モデル共同化も

同社は長年、住宅金持つ。そこで蓄積した後半から「住宅ローン融資支援機構のシステム 住宅ローン分野のノウハウを生かし、12年度

「住宅ローン」を提  
限前返済率などを導き  
金融機関が保有する  
顧客属性など住宅ロー  
ン関連データを分析し  
て、デフォルト率や期  
限前返済率などを導き

出す。特徴的なのは、複数の分析手法の中から最適手法を採用すること。そのため、データ量が少ない小規模の金融機関であっても、リスク傾向の分析も、リスク傾向の分析を可能にした。結果を提供するだけでなく、その過程も図表などで可視化。例えば、

「インターネットバンキングが期限前返済に影響している」といった要因も明らかにすることで、新商品開発など営業推進にも生かせるようにした。

さらに、分析結果の活用をサポートするコンサルティングを実施するほか、予測モデルの陳腐化を防ぐため、定期的な効果の検証も行う。13年度からは迅速・安価に導入できる簡易モデルを活用した「スモールスタートサービス」も導入。

同社は、単独での利用だけでなく、同地域の協同組織金融機関による予測モデルの共同利用も検討していく。